

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話(243)0141

2013 5月 27日

商工フェアインにいがたに二〇〇〇人

一九日新潟駅南広場で開催された「商工フェア・インにいがた」は、好天にも恵まれ、二〇店が出店し、特設ステージでの演奏や踊りに、のべ二〇〇〇人が参加して賑わいました。

ステージ

午前一〇時、「商工フェア・インにいがた」は、流波太鼓で幕を開け、細山実行委員長が開会を宣言しました。そして、地域にやさしいまちづくりを願って、障がい者、高齢者、子ども、業者がそれぞれ代表としてスピーチをしました。

ステージでは、民謡や新潟総踊り、津軽三味線、アンデス音楽、吹奏楽団の演奏などで、一日中、歓声と拍手に包まれました。なかでも、キリッとした武士の踊りの相川音頭、新潟総踊りの「結心(こころ)こすど」の迫力あるよさこい演舞、三味線の合奏などに大きな歓声が上が



りました。

最後に豪華景品が当たる抽選会でドキドキしながら、大盛況のうちに幕を閉じました。

特設コーナー

商工フェア会場内の特設コーナーでは、「高齢者や障害者に優しいまちづくり」と題した小電力、太陽発電などのエネルギーを使った自家発電普及と資源循環型社会づくりのコーナーが用意され、興味を持った人達がたくさん集まりとても盛り上がりました。参加した人のなかからは「ふだんから地域の仲間と自家発電ができないかと考えていたので今日は、自家発電の具体的な話が聞けると知ってとても楽しみに来場しました。そして、たまには今日出品されている障がい者施設のロウソクをつかった生活なんかもしてみたいですね」と語る人や、また「国や自治体が障がいを持った人達をもっと雇用したり、社会の役割を分担できる環境をつくって欲しいですね」などの声がきかれました。



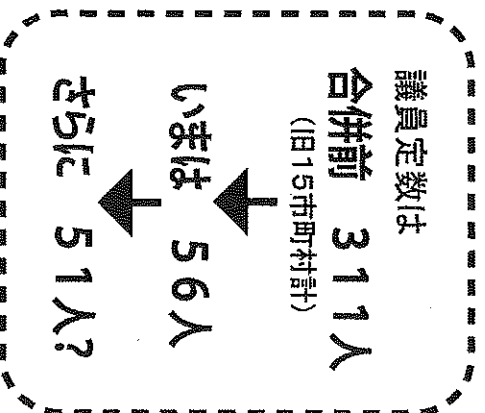
婦人部の出店「玉こんにやく」

なお、参加者のなかには、高齢の元会員・役員の人も何人もいて、互いに元気に再会できたことを喜びあったり、「こういう取り組みを今後もやってほしい」という声も聞かれました。

市民の多様な声をきりすてる

新潟市
議

議員定数削減に反対します



市議会に設置された「議員定数調査特別委員会」は3月22日、「現状維持」「5減」「8減」の3案併記の最終報告をまとめました。議会のなかでは「5減案」が多数を占め、近々、定数削減条例案を提出する動きがあります。

合併で議員が1人もいなくなった旧自治体も

新潟市は、合併前の15市町村に311人の議員がいましたが、今は56人と約6分の1に激減し、住民の声が市政に届きにくくなりました。旧月潟村、旧中之口村、旧潟東村、旧味方村には議員が1人もいなくなりました。

拙速はやめ、市民の声をよく聞けば

議会・議員の役割は 市民の意見を反映させ、行政をチェック

議会・議員の役割は「市民の意見を行政に反映させ、市民の意見によって行政をチェックすることです。議員定数の削減は、市民の多様な意見を切り捨て、行政に対するチェック機能を低下させることにつながります。市議会主催の「議会報告会」で実施したアンケートでも、「削減」より、「現状維持」の方が多く、「増員」の声もありました。

(議員が)大勢いれば議論ができるが、南区は3人で、偏った意見になる。かつては23人いたが、こういう現状で我々の意見を誰が代弁してくれるのか。
【市議会主催の「議会報告会」で出された意見】

識者の意見は 「議員定数を増やすべき」

市議会の特別委員会で参考人として意見を求められた新潟国際情報大学の越智教授と新潟県立大学の田口准教授は、次のように述べています。

(市民の)意見を通すチャンネル(議員)は現在56しかない。これを異常だと思わないほうが僕は異常だと思う。

【新潟国際情報大学・越智敏夫教授】

(議員定数の)法定上限の撤廃というのは、議会を充実させるために議員の数を増やしてください...というサインなのです。

【新潟県立大学・田口一博准教授】

定数削減の真のねらいは 議員報酬の引き上げでは

「新潟日報」2009年5月8日付は、議員定数問題について、市議の意識調査の結果を報道しています。

その中で、削減を主張している議員の半数が「5人削減し報酬増を」「少数精鋭で報酬増」などと回答しています。

削減するなら「海外視察」や ムダな大型公共事業を

「経費削減のため」というなら、「観光旅行」と批判を受けている、議員の「海外視察」こそやめるべきです。また、1000億円をこえる新潟駅連続立体周辺整備事業や1500億円の万代島ルート線などの大型公共事業にメスを入れるべきです。



大運動実行委員会
ニュース No.1

2013年5月3日

発行 地域経済を振興し、くらし・福祉・教育の充実をめざす新潟市実行委員会
新潟市中央区万代3-4-12 新潟地区労連内 電話・FAX 025-247-3958

